

取扱説明書

異常停止バルブ ESV-06 ITEM No. 854006



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

1. 適用

圧縮空気で駆動する機器すべてに使用できます。駆動機器の作動異常「空気風量の増加・異常動作による空気圧の低下」を検出し、圧縮空気源を遮断します。

⚠ 注意

- ❗ - 圧縮空気又は、窒素ガス以外は使用しないでください。

2. 仕様

使用圧力：0.2~0.99MPa

接続口径：エア入口 Rc3/4

エア出口 Rc3/4

質量：1.2kg

3. 使用方法

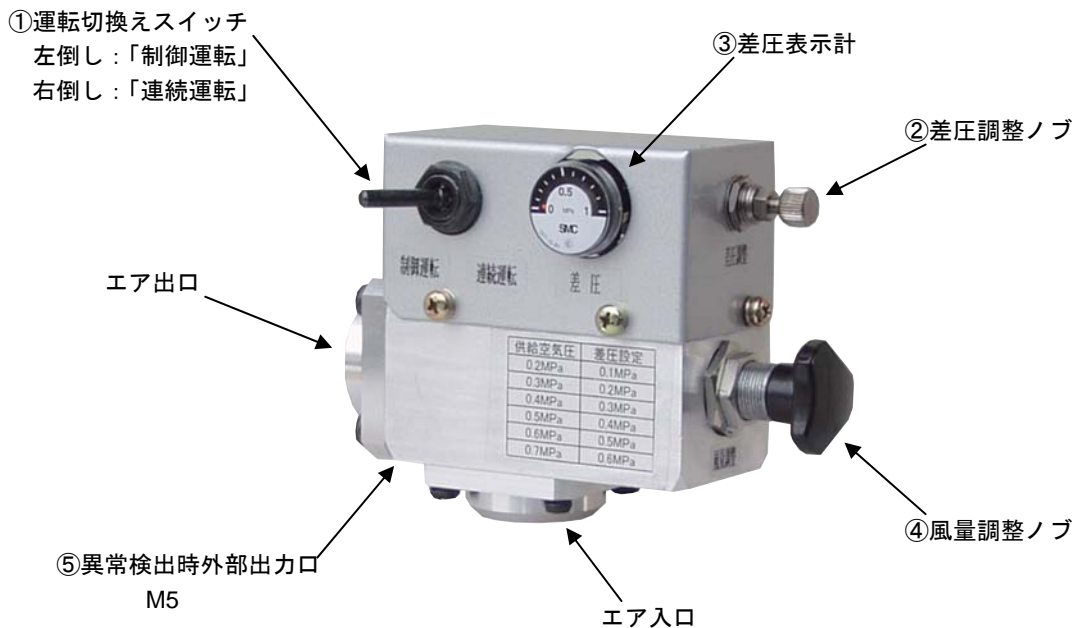
- 1) 本機の使用にあたっては、必ず圧縮空気供給源に空気圧調整弁（レギュレーター）を設備し、空気供給圧を一定に保ってください。

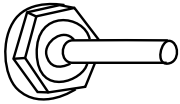
⚠ 注意

- ❗ - 空気圧調整弁の2次側を分岐して本機以外に供給しないでください。

- 2) 可能な限り駆動機器の圧縮空気供給口に直接接続して使用してください。
- 3) 別付けの場合は、空気供給口から2m以内に設置してください。微作動運転での異常検出が容易に行えます。
- 4) 別付けの場合は、駆動機器の空気供給口径のホース等で接続してください。
- 5) 駆動機器の空気供給源を遮断し、再供給した後「運転切り替えスイッチ」を連続運転に切り替え駆動機器の作動が安定した後、制御運転に切り替えてください。

4. 各部の名称



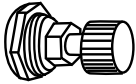


① 運転切り替えスイッチ

「制御運転」 駆動機器の異常を検出し空気の供給を遮断します。

「連続運転」 異常検出遮断後の復帰に使用します。

異常検出を解除し、連続運転で使用したい時に切り替えて使用します。



② 差圧調整ノブ

駆動機器への空気供給圧に合わせ、差圧を設定するノブです。

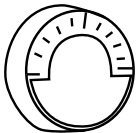
「設定基準値」

機器へのエア供給圧	差圧設定
0.2MPa	0.1MPa
0.3MPa	0.2MPa
0.4MPa	0.3MPa
0.5MPa	0.4MPa
0.6MPa	0.5MPa
0.7MPa	0.6MPa

操作要領：

駆動機器への空気供給圧を確認し「差圧設定値」に基づき設定し、差圧計で確認してください。

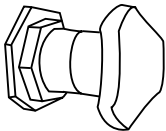
ノブを時計方向に廻せば差圧は上昇し、反時計方向に廻せば差圧は低下します。



③ 差圧表示計

差圧調整ノブにて調整された圧力が表示されます。

※設定後、必ずロックナットで固定してください。



④ 風量調整ノブ

駆動する機器の運転状態に合わせ調整します。

操作要領：

駆動機器の「制御運転」の状態でもノブを駆動機器が停止する迄、時計方向に廻し 1 ～ 2 回転反時計方向に戻してください。超微作動運転時は、駆動機器停止後 1/4 回転 (90°) 反時計方向に戻してください。「連続運転」に切り替え駆動機器の作動を確認後、「制御運転」に切り替えてください。

※「制御運転」に切り替えた後、駆動機器が停止したときは風量調整ノブを徐々に反時計方向に戻し「連続運転」「制御運転」の切り替えを繰り返し、駆動機器の安定作動を確認後必ずロックナットで固定してください。

⑤ 異常時外部出力口(M5)

駆動機器の異常を検出し、外部に発信する時に使用します。接続口は M5 で、チューブフィッティングを使用し制御機器に接続します。(空電変換器を使用することで電気信号に変換が可能です。) 正常運転時供給空気圧を同等の圧力が常時供給され、異常を検出すると空気圧が解除されます。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055